令和４年度の事業計画書

令和４年４月１日から令和年５月３１日まで

ＮＰＯ法人福祉事業大輪の花

１　事業実施の方針

社会経済活動が少しずつ回復していますが、新型コロナウイルス感染症が私達の生活にもたらす影響はまだまだ図り知れない。現在の変異株に感染した場合の陽性者の主な症状等はほぼ明らかになり、重症化のリスクこそ少なくなったものの、油断は出来ない為、引き続き感染予防対策を継続する。

今後も第７波、８波が来ることも鑑み、状況に応じて適宜対応が出来るよう体制を整える。

又、加えて戦争による影響で菓子やパンの原材料となる小麦や油等、食材、光熱費、ガソリン、消耗品等が高騰しており、今後更に値上がりすることも予想される。

　　ついては、事業経費がかさめば、給食費や菓子やパンの販売価格の見直し、仕入れ困難品に対する調達対応、小麦や油等の給食費の再検討等が必要。出来る限り、現状維持で運営が出来るように購買や在庫管理の強化、材料の見直しと工夫、節約等を行う。

　例年掲げる課題として、アフターコロナでの生活環境や経済はコロナ禍の前の状況には戻らないと想定し、新しい世の中で臨機応変に対応していく経営を行う。その中においても安心安全且つ前向きに運営する福祉施設、飲食店作りを目指す。

就労継続支援Ｂ型事業ＫＯＫＯＲＯ本舗では、本年度初めに新型コロナウイルス陽性者の発生により事業所内で蔓延し、その対応に追われた。更なる拡大を防ぎつつ、活動規模を縮小して授産作業、授産品の製造、販売を継続することで、お客様に大きく迷惑をお掛けすることなく難を乗り越えた。これにより作業中やレクリエーション時における環境の見直しと改善を行った。

授産作業については企業様からの委託作業が再開され、改めて受託した仕事を確実に仕上げて納品し、安定した受注を継続する。新規作業の依頼にも積極的に対応し受注促進を図る。

又、昨年度新規で受注した（株）合馬天然水様の新商品「水玉ぷるん」の拡販に向けて、依頼される生産数量をこなして企業様の営業活動に貢献する。

昨年度コロナ禍によりカフェレストランの開設が実施出来ませんでしたが、製パン部門は引き続き、提供予定のメニューに沿った調理等の実習を継続し、職人として育てて行きたい。

改めて長時間の立ち仕事や大量調理、調理時間の短縮等実戦さながらの訓練を継続し、体力面と精神面の強くする。

　　もじのちいさなおかしやさんでは、少しずつ再開されつつある地域のイベントに積極的に参加し、売上げと活気を取り戻したい。

　　店舗についてもカフェレストラン内への移転を目指して、改めて接客マナーや配膳の練習を継続して行う。

　　秋頃を目標に、カフェレストランに向けて調理練習したメニューのお弁当を宣伝も兼ねてテイクアウト用に販売することも検討する。

長引くコロナ禍でも企業様から継続して仕事を依頼され、店舗では常連のお客様からご愛顧を頂き、数少なく開催されるイベントにもお声を掛けて頂けることに感謝し、社会に出る意義、目標に向け継続する大切さ、責任を果し信用を得ること、恐れ過ぎずに前向きな考え方で努力することの必要性を伝えていく。

　　目標であるカフェレストランの開設に向け、今年度中に場所を確定し、来年度にオープン出来るよう計画を進める。

生活介護みんなの王国の事業計画として、以下の内容を実施する。

（事業実施の方針）

昨年度に臨時休業の要請を受け、多くの関係者に多大なご迷惑をお掛けしたことを踏まえ、今年度については、今まで以上に新型コロナウイルス感染症に対する感染対策を講じ、安心・安全な事業所運営に努める。また、そのための感染対策に関する勉強会等を定期的に行うとともに、国や自治体が公表している感染対策の指針を、その都度全職員に周知することをあらためて徹底する。

また、在宅支援の在り方についても北九州市をはじめとする行政機関や関係機関と連携し、コロナ禍における安心・安全な支援方法の確立を目指す。

今年度は将来に渡っての長期的な体制強化を目指して事業所運営を行う。

（人員配置について）

日中活動サービスにおける人員配置基準は、前年度実績に基づくものであり、みんなの王国においては前年度の実利用者数が予想を超えて多かったため、今年度さらなる人員の増員が必要となる。

看護職員については常勤換算で3．0人以上が必須となっており、また、生活支援員についても介護福祉士等の有資格者の比率を常勤者の３５%以上を維持する必要がある。

現在在職している職員の中には育児休業中の者や、今年産休に入る者、また６０歳以上の職員も3名おり、中には定年を超えての雇用期間延長を行っている者も含まれている。通常行っている介護業務の高度化（複雑な身体介護）に加え、医療行為の増加、また送迎の煩雑さなどを踏まえると、人員配置基準を満たしつつ、実働人員の確保、育成が急務であり、今年度中に体制を確立する必要がある。

（利用者支援について）

従来からみんなの王国では、日常生活全般に対する支援（いわゆる大きなニーズ）に着目することで、在宅支援の強化を行い、他の事業所との差別化と自事業所の優位性や社会にとっての必要性を確立してきた。

今年度からは大きなニーズだけでなく、些細な事柄に対する支援（小さなニーズ）にも着目し、現場職員と利用者様との関係性構築をさらに進めることとする。それに伴い、ご家族様との信頼性や情報の共有も今まで以上に深めることを重視する。

（収益について）

現状のみんなの王国は、介護給付費が「定員規模の最大値」に迫ってきており、過去のような急激な成長は見込めないことが予想される。特に懸念されることが、入退院における利用者様の人数の急激な増減である。定期的な入退院については予想の範囲内だが、突発的な入院等が重なった場合は、対処することが難しく、収入の急激な低下を招くこととなる。そのための対策として、今まで保留としていた週１、２回程度の利用を希望する新規の利用者様の受入れを進める。

２　事業の実施に関する事項

1. 特定非営利活動に係る事業

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 定款の事業名 | 事業内容 | 実施予定日時 | 実施予定場所 | 従事者の予定人数 | 受益対象者範囲及び予定人数 | 支出見込み額  （千円） |
| ①障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業 | 就労継続支援Ｂ型事業 | 通年 | 北九州市内 | ９人 | 障害者  55人 | 64,280 |
| 生活介護事業 | 通年 | 北九州市内 | 11人 | 障害者  50人 | 71,186 |
| 授産委託作業、授産品販売  （委託作業、菓子等の製造販売） | 通年 | 北九州市内 | ２人 | 一般市民多数 | 11,033 |
| ②障害者総合支援法に基づく一般相談支援事業および特定相談支援事業 | 予定なし |  |  |  |  |  |
| ③障害者総合支援法に基づく地域生活支援事業 | 予定なし |  |  |  |  |  |
| ④障害者の福祉向上のための啓発及び情報提供事業 | 予定なし |  |  |  |  |  |
| ⑤児童福祉法に基づく障害児通所支援事業 | 予定なし |  |  |  |  |  |
| ⑥児童福祉法に基づく障害児相談支援事業 | 予定なし |  |  |  |  |  |

(2)　その他の事業

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 定款の事業名 | 事業内容 | 実施予定日時 | 実施予定場所 | 従事者の予定人数 | 受益対象者範囲及び予定人数 | 支出見込み額  （千円） |
| 物品販売事業 | 予定なし |  |  |  |  |  |